

令和2年5月9日

(公社)佐賀県理学療法士会 会員様



《佐賀県理学療法士会主催》

新型コロナウイルス対策に関する 緊急アンケート結果について

(担当) 事務局 峰松 一茂

平素より士会活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、新型コロナウイルス対策に関する緊急のアンケートを実施しましたところ、多くの施設より回答を頂きました。この非常時のなか感謝申し上げます

アンケート結果について要約させていただきましたので、お知らせいたします。

感染予防対策については、これまでも各所属施設の機能やスタッフ配置、職場環境等に応じて、それぞれルールに準じて取り組まれていることと思います。しかし、この新型コロナウイルスの感染については、未だ不明な点が多い感染症であるため、不安に感じられたり、その対応にご苦労されている施設も少なからずあるのではないかと拝察いたします。

アンケート結果については、回答時点のものであり、各施設の対応や物品の充足状況も刻々と変化していることをご理解いただいた上で、貴施設等での今後の感染対策について何かしら参考にさせていただければ幸いです。

アンケート方法：メール配信システム使用し、県内施設へのアンケート依頼

内容：施設全体での対応、リハビリ部での対応、個人対応、質問事項

目的：県内の現状を調査し、会員へ情報発信をすることで情報の共有を図る

アンケート実施期間：2020/4/27～2020/5/1

回答施設数：計 38 施設

(病院：22, 診療所「医院」：5, 老健・施設：6, 通所・訪問・その他：5)

*各施設の取り組みを要約しています

問 1 職場全体で行っている感染予防について

- 来院者への対応
 - 体温チェック（37.5℃以上基準など）・体調（かぜ症状、味覚等）・行動歴（海外渡航、県外移動、感染症患者との濃厚接触の有無など）の問診によるトリアージ、マスクの着用、手指消毒の徹底
 - トリアージスペースの設置
 - 入院患者への面会制限または禁止、オンライン面会の開始
 - 部外者（MR、装具業者、ケアマネなど）の入場規制、同上の検温・体調チェック
 - 発熱者は、車で待機、別入口への誘導、診察は専用エリアで対応 など
- 入院患者の外出・外泊の規制
- 外来診療の制限：外来リハビリテーションの中止も含む
- 入院（入所）と外来（通所）のゾーニング

	<ul style="list-style-type: none"> • 玄関及び施設内での感染予防の掲示物による啓発 • トイレのハンドドライヤーの使用禁止 • 待合室、窓口の対応 <ul style="list-style-type: none"> →換気の徹底：2～3 時間毎、常時など →ソーシャルディスタンスの確保：椅子の間隔広げるなど →来院時間の規制：密にならない工夫 →雑誌の撤去、パーテーション・ビニールシートの設置 • 院内研修会・カンファレンス・会議関係 <ul style="list-style-type: none"> →院内研修会の中止 →カンファレンスの簡素化 →会議の時間制限、3密にならぬよう環境調整 • 感染予防および感染対応マニュアルの改訂、フェーズ表の作成・運用 • 感染対策会議関係（医師・他職種の情報共有や指示） <ul style="list-style-type: none"> →コロナ対策委員会の臨時開催、感染対策委員会の開催頻度増加 →感染対策室：認定看護師の増員 • 通所／訪問事業所の対応 <ul style="list-style-type: none"> →送迎車両の消毒、1 回送迎人数の規制 →送迎前の検温、体調確認 →利用者の同居家族について、緊急事態宣言地域への往来自粛
--	--

問 2 理学療法部門（リハ部門）で行っている感染予防について

	<ul style="list-style-type: none"> • 標準予防策（マスク・手袋・ガウン・ゴーグルの適正使用、手指衛生）の徹底 <ul style="list-style-type: none"> →OT/ST の摂食訓練など飛沫感染のリスクが高い場合は、フェイスシールド使用 • 環境調整について <ul style="list-style-type: none"> →治療ベッド、マット、各種機器、パソコンの消毒 →リハビリ室内の換気 →治療ベッド及びマット上での患者間の距離を開ける →平行棒、エルゴ、マシン、重錘等の共用器具は、使用ごとに消毒または使用禁止 →物理療法機器は、使用ごとに消毒または使用禁止 →枕は、使い捨てシートの使用、枕カバーの洗濯回数の増加、枕の撤去 等 • 入院（入所）リハと外来（通所）リハの場所及びスタッフを分ける • 入院（入所）リハと外来（通所）リハ、または回復期、包括、一般病床のゾーニングや使用時間帯の調整 • 患者密集予防 <ul style="list-style-type: none"> →混雑解消のために予約時間の遵守 →朝の混雑緩和目的に、早朝時間帯の外来予約規制 • 入所と通所でスタッフのユニフォーム交換 • 部門内会議の中止、朝礼含むミーティング中止、院内 LAN 上での情報共有 • 回復期、包括、一般病床などスタッフの介入病棟を区分し、病棟毎にリハビリ室を使用す
--	--

	<p>る時間帯を分けて介入</p> <ul style="list-style-type: none"> • 退院前訪問指導は、訪問先に疎開者はいないか、家族に発熱者がいないか確認して実施 • 老健／施設での対応 <ul style="list-style-type: none"> →面会全面中止のため、家族に向けて入所者近況写真とリハビリコメントの提供 • 通所／訪問事業所の対応 <ul style="list-style-type: none"> →訪問直後の手洗い、マスク着用、訪問道具の消毒、利用者との距離（飛沫を考慮） →訪問先の換気の促し →デイサービス、訪問リハビリの休業 →感染者や感染疑いの方に対する対応については、一般社団法人訪問リハ振興財団監修の「新型コロナウイルス感染対策初動対応マニュアル」を参照。
<p>問3 スタッフ（職員）が行っている感染予防について</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> • 職員の対応 <ul style="list-style-type: none"> →体調自己管理：体温測定、自覚症状など →標準予防策（マスク・手袋・ガウン・ゴーグルの適正使用、手指衛生）の徹底 →発熱時、体調異常（かぜ症状、味覚・臭覚異常等）時の出勤停止、行動記録義務化 →同居家族の体調管理：報告義務 →不要不急の外出制限（会食禁止、イベント・学会・研修会への参加自粛 等） →地域活動の制限 →県外への移動制限、家族・親族等の県外からの帰省制限：申請書提出など →スタッフ室、休憩室、食堂等での人数制限、ソーシャルディスタンスの確保、換気 • 同一法人施設間のスタッフの往来制限 • 入院（入所）・外来（通所）などスタッフの配置の固定化、入院・外来の物品の区別化 • ユニフォームの清潔保持